

イネ科通信 35

チガヤ

2014/05/31

花茎を直立させて高さ 30～80cm になる多年草。地下茎で殖えるので群生し、やや乾燥した草原や荒地などに生育します。葉は線形で細長く、長さ 20～50cm、幅 1cm 前後です。節部にだけ白色の長毛が束生します。



荒地に群生するチガヤ



硬い鱗片に包まれた根茎



花序全体が円柱状¹これを左右から引っ張ると花序に多数の枝が現れ²その枝に複数の小花が付き、そこに何本もの基毛が見られます³。小花を取り外すのが難しく上手く撮影できませんでした。

葉身の反転（葉身の表裏が反対になること。イネ科通信 1 にも載せました）は発芽後の第 1 葉からみられるもの、第 2 葉でみられるものなど様々ですが、殆どが第 3 葉から反転状態がみられます。葉身の反転は多年草に見られる現象ですが、多年草の葉身がすべて反転するわけではありません。葉身の反転については『たかがスキされどスキ』（藤本義昭著）を参照しました。チガヤも第 3 葉から反転する？

●下記の言葉をインターネットで調べてみました。

チガヤの花言葉 →子供の守護神

チガヤの英名 →Japanese blood grass